



とびまりの笑顔の小田隊員 ✨

冬の味覚と昆虫の魅力を
大川ゆめフェアでPR!

11月下旬に開催されたゆめタウン大川のゆめフェアに大木町ブースとして出展しました。昆虫くじやガラポン、きのこの販売に加え、大木町ブランド米「環のめぐみ」なども3日間販売しました。

この季節ならではの鍋料理にぴったりなキノコは特に大好評で、多くの方にお買い求めいただきました。

地元の方々との交流も盛んに行い、大川で活動されている皆さんとも多くの話ができ、つながりを実感する機会となりました。これからも地域連携を大切にし、大木町の魅力を広めていきます!



準備をする浅野、高橋隊員

冬も全力PR! 大木町の魅力を全国へ



ヘラレスオオカブトの卵の写真

視察が増加! 大木町の取り組みに全国から注目が集まる

10月に全国放送のテレビ番組で大木町の取り組みが紹介されて以降、企業や研究者、教育者、個人の方々が続々と視察に訪れています。

循環型プロジェクトに大きな関心が寄せられ、新たなコラボの可能性も広がっています。企業との商品開発や教育分野での活用、地域を超えた連携など、多彩な展開が期待されています。これからも多くの方々と共に、循環型社会を実現する取り組みを推進し、地域の活性化につなげていきます!

豚舎でのミニ削減プロジェクト進行中

大木町で発生した有機廃棄物を活用したゴミ削減プロジェクトが順調に進んでいます。現在、豚舎跡地で数千匹ものカブトムシの幼虫がキノコの廃菌床を食べ、有機廃棄物を着々と減らしています。

また幼虫の糞を活用した肥料の生産も進めており今月にはこの肥料を使用して農地への活用を計画です。

廃棄物の削減だけでなく、新たなブランド作物の創出にもつながる持続可能なモデルを目指しています。



国産カブトムシ幼虫の
状態確認をする平松隊員

大木町地域おこし協力隊のInstagramで活動を随時報告しています!

フォロワー目指せ1万人!

